

第21回九州小児泌尿器研究会 プログラム

“こどもは神からの預かりもの”

期 日：令和7年2月15日（土）13：00～

会 場：マリターレ創世佐賀
（佐賀市神野東 2-5-15 TEL0952-33-5511）

参 加 費：3,000 円

世話人会：11：30～ 4F グランデピアツァ

第21回会長 野口 満
（佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科）

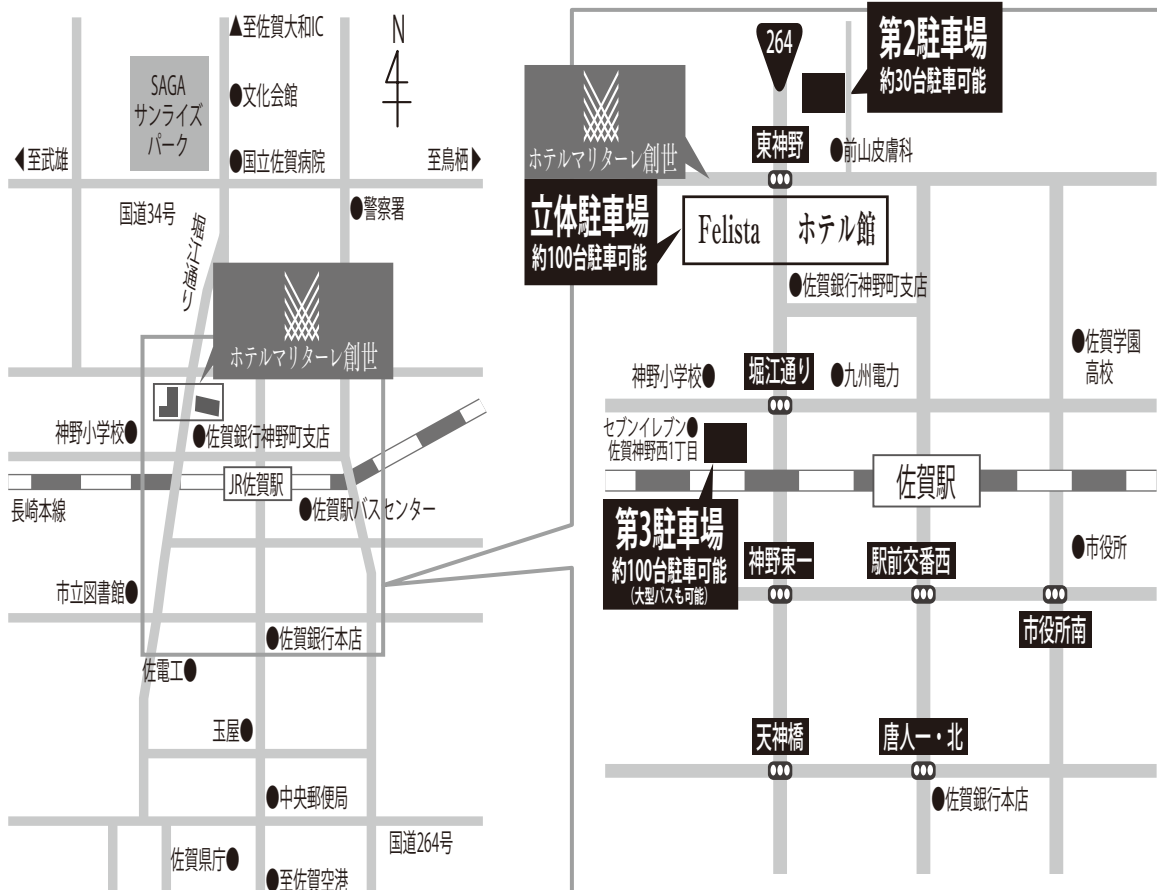
学会会場案内

ホテルマリターレ創世 佐賀

4 階 グランデピアツァ

(佐賀市神野東 2-5-15)

TEL: 0952-33-5511)



ACCESS

交通アクセス

【車】

- 博多駅より佐賀大和ICまで約65分(九州自動車道・長崎自動車道経由)
- 福岡空港より佐賀大和IC まで約45分(九州自動車道・長崎自動車道経由)
- 佐賀空港より佐賀駅バスセンターまでバスで約30分
- 佐賀大和ICよりホテルまで約15分

【JR】※佐賀駅(北口)より徒歩で約5分

- 博多駅より佐賀駅まで特急約40分
●博多駅より佐賀駅まで特急約80分

【バス】

- 福岡市天神より佐賀駅バスセンターまで高速バスで約80分
- 福岡空港より佐賀駅バスセンターまで高速バスで約60分
- 佐賀空港よりホテルまで約30分

学会参加・発表要項

1. 参加費について

- ◆参加費3,000円を会場受付で納め、参加証をお受け取り下さい。

2. 発表について

- ◆講演時間は1題につき6分、討論時間は3分です。
- ◆発表30分前にまでに受付をお願い致します。
- ◆形式はWindows power pointに限定させていただきます。
- ◆スライドはUSBメモリに保存し、受付にてご提示ください。
- ◆動画を使用される場合、またはMacをご使用の場合は、PCをご持参ください。
- ◆PCをご持参される場合は、電源コード、出力端子用アダプターもご準備下さい。

3. 懇親会について

- ◆特別講演終了後マリターレ創世4階にて行います。
- ◆参加される方は懇親会費2,000円を研究会受付でお支払い下さい。

〈本件に関するお問い合わせ・運営事務局〉

〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1

TEL：0952-34-2344 FAX：0952-34-2060

E-mail：hinyoukika@ml.cc.saga-u.ac.jp

佐賀大学医学部附属病院泌尿器科 草野・山口

開会の挨拶 (13:00 ~ 13:05) 野口 満 (佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科 教授)

セッション1 (13:05 ~ 14:17)

座長 里地 葉 (熊本市民病院 泌尿器科)

1. 腎機能温存にIVRと手術のハイブリッド治療が有効であった外傷性腎損傷Ⅲbの1例
福田篤久, 永田公二, 近藤琢也, 川久保尚徳, 田尻達郎
九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野
2. 成人期の結石を伴う憩室化した鎖肛術後遺残瘻孔の治療経験
井手迫俊彦, 小川理佐子, 才田幸一郎, 川上一誠, 川越真理
済生会川内病院 泌尿器科・小児泌尿器科
3. 子宮腫瘍水症により出生後呼吸不全・心停止に至った総排泄腔遺残の一例
川野孝文¹⁾, 矢野圭輔¹⁾, 村上雅一¹⁾, 大西 峻¹⁾, 井口智生²⁾, 井手迫俊彦²⁾,
榎田英樹²⁾, 家入里志¹⁾
鹿児島大学病院 小児外科¹⁾, 鹿児島大学病院 泌尿器科²⁾
4. Potter 症候群の低出生体重児に対する腹膜透析の経験～腹膜透析カテーテルの選択と課題～
渡邊新太¹⁾, 原田淳樹¹⁾, 倉田博基¹⁾, 光成健輔¹⁾, 松尾朋博¹⁾, 大庭康司郎¹⁾,
望月保志²⁾, 今村亮一¹⁾, 松田 諒³⁾, 黒岩かほり³⁾, 池田英史³⁾, 有森諒太郎³⁾,
桐野泰造³⁾, 宮副祥一³⁾, 小形 勉³⁾, 中嶋有美子³⁾, 尾方信仁⁴⁾, 大関圭祐⁴⁾,
山根裕介⁴⁾,
長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科¹⁾, 長崎大学病院 血液浄化療法部²⁾
長崎大学病院 小児科³⁾, 長崎大学病院 小児外科⁴⁾
5. 当院における急性陰嚢症に対して精巣摘除した5例の検討
渡邊舟貴¹⁾, 松本博臣¹⁾, 湊 晶規²⁾, 柏木英志²⁾
北九州市立八幡病院¹⁾, 産業医科大学病院²⁾
6. 腹腔内精巣に対するSHEHATA法による二期的腹腔鏡下精巣固定術症例の検討
中村晶俊¹⁾, 生野久美子¹⁾, 橋本佳子¹⁾, 三好きな²⁾, 竜田恭介³⁾, 生野 猛¹⁾
国立病院機構小倉医療センター 小児外科・小児泌尿器科¹⁾
北九州市立医療センター 小児外科²⁾, 飯塚病院小児外科³⁾

7. 小児におけるロボット支援腹腔鏡下腎盂形成後腎機能の検討－腹腔鏡下腎盂形成術との比較－

宮崎 健, 富永光将, 郡家直敬, 松岡弘文, 羽賀宣博

福岡大学医学部 腎泌尿器外科学講座

8. CIC とビバグロン内服で膀胱コンプラインスが改善した神経因性膀胱の1例

新居見真吾, 日吉祐介, 田中征治

久留米大学医学部 小児科学講座

休 憩 (～ 14 : 30)

セッション 2 (14 : 30 ～ 15 : 42)

座長 宮崎 健 (福岡大学医学部 腎泌尿器外科学講座)

9. 高度埋没陰茎の一例

里地 葉

熊本市民病院 泌尿器科

10. 尿道屈曲を伴った冠状溝部尿道下裂の1例

生野 猛, 中村晶俊, 橋本佳子, 生野久美子

NHO 小倉医療センター 小児外科・小児泌尿器科

11. 当科における尿道下裂手術症例の検討

川端誠一, 奥村祐生, 奥村健児

熊本市民病院 小児外科

12. 術後レントゲンで発見された1mm以下の異物遺残の1例

村上道洋, 東武昇平, 前田晃宏, 川崎麻己, 柿木寛明, 有働和馬, 野口 満

佐賀大学医学部 泌尿器科

13. 腎後性腎不全、閉塞性腎盂腎炎を来した左無形成腎、右高度膀胱尿管逆流の1例

井口智生¹⁾, 井手迫俊彦²⁾, 鑑野秀一¹⁾, 川越真理²⁾, 山田保俊¹⁾, 榎田英樹¹⁾

鹿児島大学病院 泌尿器科¹⁾, 済生会川内病院 泌尿器科・小児泌尿器科²⁾

14. 右腎盂形成術後に高血圧のため ICU 管理を要した両側腎盂尿管移行部通過障害の 1 歳女児
岡 政史¹⁾，大串栄彦¹⁾，村上道洋²⁾，前田晃宏²⁾，東武昇平²⁾，野口 満²⁾，松尾宗明¹⁾
佐賀大学医学部附属病院 小児科¹⁾，佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科²⁾
15. 巨大 Müller 管嚢胞の一例
秋武奈穂子，赤峰 翔，此元竜雄，鯉川弥須宏
福岡市立こども病院 泌尿器科
16. 血友病精査の過程でクラインフェルター症候群と診断された 1 例
雪本弥仁雅¹⁾，東武昇平¹⁾，前田晃宏¹⁾，川崎麻己¹⁾，柿木寛明¹⁾，有働和馬¹⁾，尾形善康²⁾，
副島英伸³⁾，佐賀大学 DSD チーム⁴⁾，野口 満¹⁾
佐賀大学医学部 泌尿器科¹⁾，佐賀大学医学部 小児科²⁾
佐賀大学医学部 分子生命科学講座³⁾，佐賀大学医学部附属病院⁴⁾

議 事 (15 : 42 ～ 15 : 52)

休 憩 (15 : 52 ～ 16 : 05)

特別講演 (16 : 05 ～ 17 : 05)

座長 佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 野口 満 先生

「小児泌尿器科疾患に対する、最近のロボット・内視鏡手術」

大阪市立総合医療センター 小児泌尿器科部長 石井 啓一 先生

第 21 回九州小児泌尿器研究会の開催に際しまして、以下の企業
よりご協賛を頂きました。ここに深謝の意を表します。

広告掲載一覧 (五十音順)

アステラス製薬株式会社

アストラゼネカ株式会社

MSD 株式会社

コロプラスト株式会社

武田薬品工業株式会社

日本化薬株式会社

ファイザー株式会社

山下医科器械株式会社

ヤンセンファーマ株式会社



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、
革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、
社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp





私たちは医療の未来を切り拓き 革新的な医薬品をお届けします

未だ満たされない医療上のニーズを解消する
イノベーションは、患者さんの人生に変革を
もたらします。

その信念のもと、私たちは、患者さんから学び、
科学の力をもって、未来の医薬品の可能性を
切り拓いていきます。

ヤンセンファーマ株式会社
www.janssen.com/japan/



Johnson&Johnson

抗悪性腫瘍剤／ポリアデノシン5' ニリン酸リボースポリメラーゼ（PARP）阻害剤

リムパーザ錠[®] 100mg
150mg
(オラパリブ錠)

薬価基準収載

創薬 処方箋医薬品（注意-医師等の処方箋により使用すること）

1. 警告

本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の使用が適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

4. 効能又は効果

- 白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法
- *BRCA*遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法
- 相同組換え修復欠損を有する卵巣癌におけるペバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法後の維持療法
- がん化学療法歴のある*BRCA*遺伝子変異陽性かつ*HER2*陰性の手術不能又は再発乳癌
- *BRCA*遺伝子変異陽性かつ*HER2*陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法
- *BRCA*遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌
- *BRCA*遺伝子変異陽性の治療切除不能な肺癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法

5. 効能又は効果に関連する注意

- 〈白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法〉
- 5.1 再発時の白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法で奏効が維持されている患者を対象とすること。
- 5.2 臨床試験に組み入れられた患者における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法終了後から再発までの期間（PFI）等について、〔17. 臨床成績〕の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと。〔17.1.1、17.1.2参照〕
- 〈*BRCA*遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法〉
- 5.3 国際産婦人科連合（FIGO）進行期分類Ⅲ期又はⅣ期の卵巣癌と診断され、白金系抗悪性腫瘍剤を含む初回化学療法で奏効が維持されている患者を対象とすること。
- 5.4 承認された体外診断用医薬品又は医療機器³⁾を用いた検査により、*BRCA*遺伝子変異を有することが確認された患者に投与すること。
- 5.5 臨床試験に組み入れられた患者における前治療歴等について、〔17. 臨床成績〕の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと。〔17.1.1参照〕
- 〈相同組換え修復欠損を有する卵巣癌におけるペバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法後の維持療法〉
- 5.6 国際産婦人科連合（FIGO）進行期分類Ⅲ期又はⅣ期の卵巣癌と診断され、白金系抗悪性腫瘍剤及びペバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法で奏効が維持されている患者を対象とすること。
- 5.7 承認された体外診断用医薬品又は医療機器³⁾を用いた検査により、相同組換え修復欠損を有することが確認された患者に投与すること。
- 〈がん化学療法歴のある*BRCA*遺伝子変異陽性かつ*HER2*陰性の手術不能又は再発乳癌〉
- 5.8 本剤の投与を行う場合には、アムトラサイクリン系抗悪性腫瘍剤及びタキサン系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法歴のある患者を対象とすること。
- 5.9 承認された体外診断用医薬品又は医療機器³⁾を用いた検査により、生殖細胞系列の*BRCA*遺伝子変異(病的変異又は病的変異疑い)を有することが確認された患者に投与すること。
- 〈*BRCA*遺伝子変異陽性かつ*HER2*陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法〉
- 5.10 本剤の術前薬物療法としての有効性及び安全性は確立していない。
- 5.11 臨床試験に組み入れられた患者の再発高リスクの定義、前治療歴等について、〔17. 臨床成績〕の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと。〔17.1.6参照〕
- 5.12 承認された体外診断用医薬品又は医療機器³⁾を用いた検査により、*BRCA*遺伝子変異を有することが確認された患者に投与すること。
- 〈*BRCA*遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌〉
- 5.13 本剤の術後補助療法としての有効性及び安全性は確立していない。
- 5.14 承認された体外診断用医薬品又は医療機器³⁾を用いた検査により、*BRCA*遺伝子変異を有することが確認された患者に投与すること。
- 5.15 臨床試験に組み入れられた患者の前治療歴等について、〔17. 臨床成績〕の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと。〔17.1.7、17.1.8参照〕
- 〈*BRCA*遺伝子変異陽性の治療切除不能な肺癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法〉
- 5.16 本剤の手術の補助療法としての有効性及び安全性は確立していない。
- 5.17 白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法で疾患進行が認められていない患者を対象とすること。
- 5.18 臨床試験に組み入れられた患者の病期、白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法での投与期間等について、〔17. 臨床成績〕の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと。〔17.1.9参照〕
- 5.19 承認された体外診断用医薬品又は医療機器³⁾を用いた検査により、生殖細胞系列の*BRCA*遺伝子変異(病的変異又は病的変異疑い)を有することが確認された患者に投与すること。
注) 承認された体外診断用医薬品又は医療機器に関する情報については、以下のウェブサイトから入手可能である：
<https://www.pmda.go.jp/review-services/drug-reviews/review-information/cd/0001.html>

6. 用法及び用量

- 〈白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法、*BRCA*遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法、*BRCA*遺伝子変異陽性の治療切除不能な肺癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法〉
- 通常、成人にはオラパリブとして1回300mgを1日2回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
- 〈相同組換え修復欠損を有する卵巣癌におけるペバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法後の維持療法〉
- ペバシズマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはオラパリブとして1回300mgを1日2回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
- 〈がん化学療法歴のある*BRCA*遺伝子変異陽性かつ*HER2*陰性の手術不能又は再発乳癌、*BRCA*遺伝子変異陽性かつ*HER2*陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法〉
- 通常、成人にはオラパリブとして1回300mgを1日2回、経口投与する。ただし、術後薬物療法の場合、投与期間は1年間までとする。なお、患者の状態により適宜減量する。
- 〈*BRCA*遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌〉
- 通常、成人にはオラパリブとして1回300mgを1日2回、経口投与する。他の薬剤と併用する

DARE TO CHALLENGE

場合は、アピラテロン酢酸エステル及びブレドニゾンと併用すること。なお、患者の状態により適宜減量する。

7. 用法及び用量に関連する注意

〈効能共通〉

- 7.1 100mg錠と150mg錠の生物学的同等性は示されていないため、300mgを投与する際には100mg錠を使用しないこと。
- 7.2 本剤投与により副作用が発現した場合には、以下の基準を考慮して、休薬・減量・中止すること。

副作用発現時の用量調節基準

副作用	程度 ^注	処置	再開時の投与量
貧血	ヘモグロビン値がGrade 3又は4の場合	ヘモグロビン値≧9g/dLに回復するまで最大4週間休薬する。	・1回目の再開の場合、減量せずに投与する。 ・2回目の再開の場合、1回250mgを1日2回で投与する。 ・3回目の再開の場合、1回200mgを1日2回で投与する。
好中球減少	Grade 3又は4の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。	Grade 1以下で投与する。
血小板減少	Grade 3又は4の場合	Grade 1以下に回復するまで最大4週間休薬する。	減量せずに投与する。
間質性肺疾患	Grade 2の場合 Grade 3又は4の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。 中止する。	減量せずに投与する。 再開しない。
上記以外の副作用	Grade 3又は4の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。	減量せずに投与する。

- 注：GradeはNCI-CTCAE ver4.0に準じる。
- 〈白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法、がん化学療法歴のある*BRCA*遺伝子変異陽性かつ*HER2*陰性の手術不能又は再発乳癌、*BRCA*遺伝子変異陽性の治療切除不能な肺癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法〉
- 7.3 他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していない。
- 〈*BRCA*遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法〉
- 7.4 他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していない。
- 7.5 本剤の投与開始後2年が経過した時点で完全奏効が得られている患者においては、本剤の投与を中止すること。
- 〈相同組換え修復欠損を有する卵巣癌におけるペバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法後の維持療法〉
- 7.6 本剤の投与開始後2年が経過した時点で完全奏効が得られている患者においては、本剤の投与を中止すること。
- 7.7 ペバシズマブ（遺伝子組換え）の投与期間等について、〔17. 臨床成績〕の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で投与すること。〔17.1.4参照〕
- 〈*BRCA*遺伝子変異陽性かつ*HER2*陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法〉
- 7.8 他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していない。
- 7.9 内分泌療法剤との併用の必要性について、〔17. 臨床成績〕の項の内容を熟知し、ホルモン受容体の発現状態等を考慮した上で判断すること。〔17.1.6参照〕
- 〈*BRCA*遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌〉
- 7.10 アピラテロン酢酸エステル又はエナラルタミドによる治療歴のない患者における本剤単独投与の有効性及び安全性は確立していない。
- 7.11 他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していない。
- 7.12 外科的又は内科的去勢術と併用しない場合の有効性及び安全性は確立していない。

8. 重要な基本的注意

- 8.1 骨髄抑制があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に血液検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。〔11.1.1参照〕

10. 相互作用

薬剤名等	
強いCYP3A阻害剤	イトラコナゾール、リタナビル、ボリコナゾール等〔16.7.1参照〕
中程度のCYP3A阻害剤	シプロフロキサシン、ジルチアゼム、エリスロマイシン、フルコナゾール、ペバシズマブ等〔16.7.1参照〕
グレープフルーツ含有食品	
CYP3A誘導剤	リファンピシン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort) 含有食品等〔16.7.2参照〕

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

- 11.1.1 骨髄抑制
- 貧血(30.5%)、好中球減少(13.7%)、白血球減少(12.2%)、リンパ球減少(7.3%)、血小板減少(6.5%)等があらわれることがある。〔8.1参照〕
- 11.1.2 間質性肺疾患(0.6%)
- 11.1.3 静脈血栓塞栓症
- 肺塞栓症(0.4%)、深部静脈血栓症(0.1%)等の静脈血栓塞栓症があらわれることがある。
- 11.1.4 感染症
- 肺炎(0.4%)等の重篤な感染症があらわれることがある。
- 11.2 その他の副作用

	10%以上
消化器	悪心(48.3%)、嘔吐、下痢、食欲減退、味覚異常
全身	疲労・無力症(37.9%)

21. 承認条件

医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

- 「その他の注意事項等情報」等は電子添文をご参照ください。
- 電子添文の改訂にご留意ください。

製造販売元〔文獻請求先〕

アストラゼネカ株式会社

大阪市北区大深町3番1号

TEL 0120-189-115

(問い合わせフリーダイヤル) メディカラインフォーメーションセンター)

2023年8月作成

永久に人の仕事。

見えないけれど、たいせつなこと。

医療技術は、日進月歩で進化しています。

それに応えるため、山下医科器械も深化します。

企業として、また人として、

ベストを尽すと同時にベストを更新したい。

いかに器械や薬が発達しても、

医療を支えるのは、人間なのですから。

山下医科器械株式会社

福岡本社 〒812-0027 福岡市博多区下川端町2-1 10F
TEL 092-402-2950 HP <https://www.yamashitaika.co.jp>

支社 福岡 092-474-2071 ・ 筑後 0942-31-1166 ・ 北九州 093-962-2245
佐賀 0952-30-6433 ・ 長崎 095-844-3171 ・ 佐世保 0956-25-2111
熊本 096-378-5911 ・ 大分 097-503-8522 ・ 鹿児島 099-283-3233

営業所 大牟田・福岡西・筑豊・武雄・唐津・長崎中央・島原・五島・対馬・八代・宮崎
連絡所 天草・中津・奄美

yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/



新発売

抗悪性腫瘍剤

ポリアデノシン 5' ニリン酸リボースポリメラーゼ (PARP) 阻害剤

薬価基準収載



ターゼナ[®] カプセル 0.1mg
0.25mg

TALZENNA[®] capsules タラゾパリブトシル酸塩カプセル

劇薬、処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

製造販売

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

文献請求先及び製品の問い合わせ先：

Pfizer Connect / メディカル・インフォメーション 0120-664-467

<https://www.pfizermedicalinformation.jp>

販売情報提供活動に関するご意見：

0120-407-947

<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/contact/index.html>

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については、電子添文をご参照ください。

TZN720004A

2024年4月作成

明日の しあわせに 化ける術。

人知れずこっそり、世界中の“すきま”に潜んでいる。
火薬の力を使って瞬時にエアバッグを膨らませたり、
電子機器の半導体に使われる樹脂をつくったり、
また、人々の健康を守る抗がん剤などの医薬品や
食料の安定供給に欠かせない農薬を提供していたり。
私たちは、技術をしあわせに化けさせる会社です。
現在から未来へ。すきまから世界へ。これからの
暮らしになくてはならない価値を、次々と発想します。



世界的すきま発想。

日本化薬

親水性コーティング付き 自己導尿カテーテル

SpeediCath® Navi designed for you

製品名	製品番号	外径(CH / Fr)	全長 (cm)	包装単位
スピーディカテ ナビ 30	29021	10	30	30本/箱
	29022	12		
スピーディカテ ナビ 40	29010	10	39	
	29012	12		
	29014	14		
	29016	16		



販売名: スピーディ カテ / 一般的名称: 間欠泌尿器用カテーテル / 区分: 管理医療機器 クラスII / 医療機器認証番号: 219ACBZX00025000

SpeediCath® Compact Female designed for you

製品名	製品番号	外径(CH / Fr)	カテーテル 有効長 (cm)	使用時の 全長 (cm)	包装単位
スピーディカテ コンパクトF 女性用	28578	8	7	14	30本/箱
	28580	10			
	28582	12			
	28584	14			

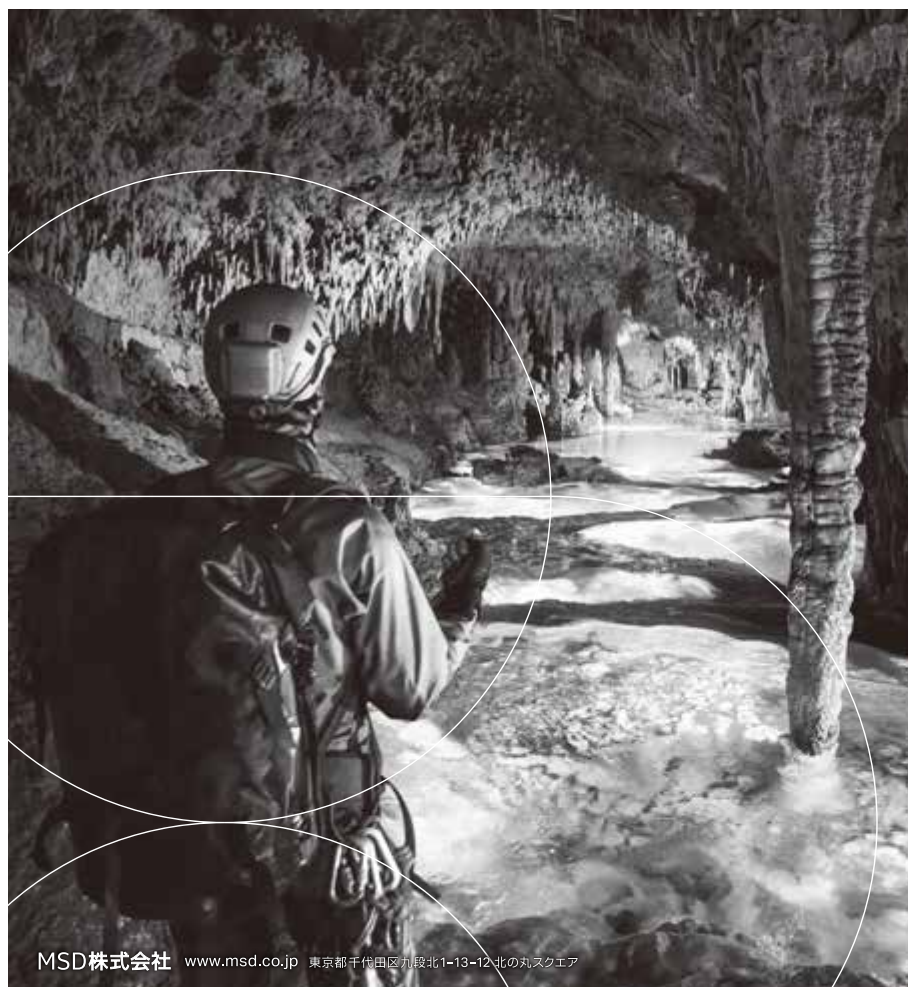


販売名: スピーディ カテ コンパクト / 一般的名称: 間欠泌尿器用カテーテル / 区分: 管理医療機器 クラスII / 医療機器認証番号: 220ACBZX00051000

製造販売元

コロプラスト株式会社 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30 イタリア文化会館ビル
www.coloplast.co.jp ☎ 0120-664-469





INVENTING FOR LIFE

人々の生命を救い
人生を健やかにするために、挑みつづける。

最先端の医薬品の創造。それは長く険しい道のりです。
懸命な研究開発の99%以上は実を結ばない現実。
でも、決してあきらめない。
あなたや、あなたの大切な人の「いのち」のために、
革新的な新薬とワクチンの発見、開発、提供を
私たちは続けていきます。

 **MSD製薬**
INVENTING FOR LIFE

MSD株式会社 www.msd.co.jp 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア

第21回九州小児泌尿器研究会 プログラム集

2025年2月発行

発行元 佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科内

第21回九州小児泌尿器研究会 事務局

連絡先 〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1

TEL: 0952-34-2344 FAX: 0952-34-2060

